

Sports Fukushima

スポーツふくしま

26
2011.12

(財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!
I will play sports together!

巻頭言

今こそ立ち上がる時

本年度より体育協会の副会長を仰せつかりました。入選の誤りだったなどと言われまいように努力して参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

まずは、この東日本大震災ならびに原発事故で被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、震災直後のチーム編成や練習環境もままならない状況の中で、いち早く復興のために立ち上がってくれた数多くのスポーツ関係の方々に深く感謝と敬意を表します。また、競技団体、地域連合、スポーツ少年団関係の皆様が大変な思いをして頑張っている姿を見聞するたびに胸を熱くしておりました。ありがとうございました。

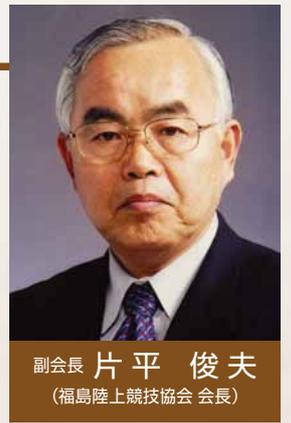
先に開催された山口国体で本県勢は念願の30位台を目指して必死になって戦いましたが、あと一步のところまで40位台に甘んじてしまいました。競技団体によっては震災により結束力が高まりプラスαの力が引き出され大健闘してくれた競技団体もいくつかありましたが、放射能問題やそれに付随する様々な問題等がなかったらと悔やまれます。

しかしそれを言い訳にしていたら福島県の未来はないと思いますので、捲土重来を期して今冬から始まる来年の国体に全力を傾注してほしいと願っております。

さて、わが国は戦後の混乱期の中から力強く復興して現在に至っておりますが、特にスポーツの国際試合等での活躍が、国民の皆様の元気を取り戻し復興を早めるエネルギーになったということをご存知のことと思います。スポーツ選手が国の命運をかけて戦う姿が戦争による惨禍で疲弊きった人々の心を元気づけたと記録されております。

奇しくも日本体育協会創立100周年を迎え、その復興・発展を祝った節目の年に今回の大震災が起こったこと、その巡り合わせに何か因縁めいたものを感じるのは私だけでしょうか。福島県が以前の自然豊かな県土に戻るまでには大変な時間を要するものと覚悟はしておりますが、体育協会の果たすべき役割もまた大きな意味を持つものと考えて、少しでも他県に伍して戦えるように頑張るほかないと思っております。

さて、震災に絡んで一流と言われるスポーツマンの方々



副会長 片平 俊夫
(福島陸上競技協会 会長)

が被災地を巡回し様々なイベントを開催してくれました。日頃身近なところに来てくれる人たちではないだけに、若者達はもとより老若男女が喜びや力をいただきました。しかし、被災者は肉親を亡くし家も無くし仕事も無くして今も大変な思いをして生活している方々がほとんどです。そのような境遇にある方々にとってこれらのパフォーマンスは一時的には気が紛れたと思いますが一過性のもでもあります。今後、本当に元気を取り戻していただくためには、それぞれの方々がそれぞれの分野で働きかけや気配りをして、継続的に被災者に寄り添っていく心をしっかり持つことが望まれます。これらの善意ある行動に水を差すようで申し訳ないのですが、スポーツ選手たちがスター気取りで「被災者を感動させる」などと発言する場面が報道で何回となく流れましたが、私としましては「被災者の皆様に少しでも元気を取り戻していただくために・・・」という謙虚な姿勢を見せて欲しかったと思いました。

本県スポーツの復興については幸いに本宿尚先生を筆頭とするスポーツ医科学委員の錚々たる先生方、白石豊、川本和久両先生を擁する福島大学という知的財産・機関もあり更には情熱に溢れるスポーツの指導者がいて、条件にはなんら不足ない態勢があります。歴史は常に「人が時代をつくる」ことを教えてくれますが、加えて体育協会の関係者が一丸となって前向きに努力すれば必ずや元気ある福島が甦ります。

そして、福島県のスポーツマン、スポーツ選手たちには「県のために、チームのために、家族のために、自分に関わってくれる人のために、そして自分のために」ひたすらに頑張りたいと願っています。ひたむきな姿を見せてくれることが、県民の皆様の折れそうな心を少しでも支えることになり、一日一日復興に向けた足取りが力強くなっていくのではないかと信じています。

さあ、みなさん、これからですよ！ がんばっぺ！

も

1 巻頭言

く

2 第66回 国民体育大会成績

じ

3 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿

9 親子体操教室

10 スポレクとちぎ2011

11 ふくしまスポーツフェスタ2011

日本体育協会・日本オリンピック委員会
創立100周年記念事業

12 第1回福島県スポーツ指導者研修会

うつくしまBande(絆) ドイツ派遣事業

13 みんなでつくろう総合型地域スポーツクラブ!

「みんなで創るスポーツクラブすいっち」

14 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

編集後記

インフォメーション

【表紙写真説明】

陸上競技 4×100Mリレー(福島民友新聞社) 馬術 杉本葵生選手(福島民友新聞社) 入場行進(福島民報社)
水泳 加藤和選手(福島民報社) バドミントン 桃田賢斗選手(福島民報社)
自転車競技 窪木一茂選手(福島民報社) 陸上競技 村上康則選手(福島民友新聞社)

第66回 国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケートアイスホッケー競技会	平成23年1月26日(水)～1月30日(日)	青森県 森戸市	佐藤 憲保	2	10	5	30	45
	スキー競技会	平成23年2月12日(土)～2月15日(火)	秋田県 鹿角市	渡部 孝美	1	10	10	47	67
本大会		平成23年10月1日(土)～10月11日(火) (水泳:9月7日(水)～15日(木)) (体操:9月9日(金)～15日(木)) (クレ-射撃:9月11日(日)～15日(木))	山口県 山口市他	宗形 守敏	34	17	68 (84)	361 (9)	446 (93)

※ 派遣人数の()は競技団体派遣者で外数

2 競技成績

大会	区分	男女総合得点(天皇杯)				女子総合得点(皇后杯)			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会	スケート競技会	3.0点	10点	13.0点	24位	3.0点	10点	13.0点	19位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	10位	—	—	—	—
	スキー競技会	15.0点	10点	25.0点	12位	5.0点	10点	15.0点	13位
本大会		309.0点	370点	679.0点	39位	79.0点	280点	359.0点	40位
合計		327.0点	400点	727.0点	40位	87.0点	300点	387.0点	40位



入場行進
(福島民報社)



旗手 山岸玲太選手
(バスケットボール)
(福島民報社)



炬火ランナーを務めた
八巻咲帆選手(山岳)
(福島民報社)

国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿



渡辺真弓選手(福島民報社)



五十嵐麻央選手(福島民報社)



山下航平選手
(福島民報社)

●陸上競技 競技得点51.0点 天皇杯14位 皇后杯11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	1500M	1	8	村上 康則	富士通㈱
	やり投げ	7	2	山田 啓太	茨城茗友クラブ
成年女子	100M	3	6	渡辺 真弓	東邦銀行
	400M	5	4	佐藤 真有	東邦銀行
	100MH	5	4	伊藤 真彩	福島大学1年
少年男子A	走幅跳	2	7	五十嵐 麻央	福島大学1年
	三段跳	4	5	山下 航平	橘高等学校2年
少年男子B	走幅跳	5	4	岡崎 達也	福島成蹊高等学校1年
少年男子共通	5000MW	4	5	菅野 智文	白河旭高等学校3年
少年成年女子共通	4×100M リレー	3	6	熊渡 部美	福島成蹊高等学校1年
				渡辺 真有	会津学鳳高等学校3年
				佐藤 真有	東邦銀行
				渡辺 真弓	東邦銀行

●水泳競技 競技得点32.0点 天皇杯22位 皇后杯15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	200M 個人メドレー	1	8	加藤 和	山梨学院大学3年
少年男子A	200M バタフライ	6	3	遠藤 太陽	福島成蹊高等学校3年
	400M 自由形	8	1	遠藤 太陽	福島成蹊高等学校3年
少年女子B	100M 自由形	2	7	小松 桃子	湯本高等学校1年
	100M バタフライ	8	1	小林 千桜	福島高等学校1年
成年男子	飛板飛込	8	1	小林 和真	筑波大学2年
成年女子	高飛込	3	6	吉田 佳世	日本体育大学2年
	飛板飛込	4	5	吉田 佳世	日本体育大学2年



加藤 和選手
(福島民報社)



吉田佳世選手
(福島民報社)



遠藤太陽選手
(福島民報社)

感謝

湯本高等学校 小松 桃子

今回の大会は、とても特別な思いで臨んだ大会でした。3月に起きた東日本大震災。その後の原発事故。とても水泳に集中するような余裕はありませんでした。そのとき私は、改めて当たり前の生活を送ることの出来る幸せを感じることが出来ました。そんな中、何もしていないよりも、泳ぐことが出来るようになったらスムーズに動けるようにと考え、走ったり筋肉トレーニングをしたりしました。

3週間後、スイミングスクールのコーチの方々のご厚意により、所属スイミングスクールで泳ぐことが可能になりました。久しぶりにプールを見ると、自然と笑みを浮かべている自分がいて、ようやく泳ぐことが出来るのだという気持ちになりました。その時の喜びは今でも忘れることはありません。泳いでいて、泳ぐことの出来る環境をつくって下さったコーチの方々、いつも送り迎えをしてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

月日は流れ、県総合体育大会を勝ち残り、国体参加の切符を得ることが出来ました。国体でベストタイムを出し、少しでも福島の方々に元気をつけたいと思い、気合いを入れて国体に臨みました。泳ぐ前は、いろいろな事が頭を過ぎりました。それは、泳げないでいた日々、やっと泳げるようになったときの喜びと感謝、学校の部員とリレーで出場権を獲得した東北大会など水泳のことがかりでした。「これまで、自分はやることをやってきた」と思い、全力で完泳することができました。その結果、自己ベストを出し、表彰台にのぼることが出来ました。表彰台では、引率をして下さった監督やコーチの方々、最後まで応援して下さい仲間たち、どんな状況でも私を支えてくれた家族、今までの大会等で引率や指導をして下さった先生方、一緒に頑張った学校の先輩や部員たちに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今年一年、本当にいろいろなことを考えることが出来たと考えています。これからもさらに努力を重ね、頑張っていきます。応援よろしくお願いします。



(福島民報社)

山口国体に参加して

監督 会津学鳳中学校 足立 美香

この度、成年女子団体準優勝出来ました事、ひとえに今までご指導下さった先生方や強化に参加してくれた仲間たち、声援を下された方々の支えに他なりません。また、3月の震災を乗り越えながらも個人が互いの置かれた立場を理解し、認め、信頼し合えた事が一番の勝因であると感じています。平日の自主トレーニングと土日の強化稽古に対する選手の精神力と集中力、努力の賜物だと思います。互いに「感謝」・「笑顔」・「素直さ」を持ち、ひた向きに稽古に取り組む姿にいつもより長い間、「勝利の女神」が微笑んでくれたのだと思います。今回、監督をさせて頂き、大会までの時間を共に過ごせた事、貴重な経験はどんな言葉を紡いでもこの感謝の気持ちは表しきれません。月並みですが、お疲れ様。感動をありがとう。あなた達の監督である事を誇りに思います。

大将 福島県なぎなた連盟 菅原 比呂美

今回の国体で、18回目の出場となりましたが、私は演技と試合競技に参加しました。演技は、全国大会で武藤と組むのが初めてでしたが、大きなミスもなく本番を迎えました。結果は3回戦敗退となりました。試合競技は、4年ぶりの出場でしたが、久々の緊張感の中で試合に臨みました。試合内容は、初戦から楽に勝ち上がった状況ではありませんでしたので、3人それぞれが色々な想いを持って戦ったと思います。今までの最高順位が3位でしたので、決勝まで勝ち上がった事は、嬉しかったというより、正直驚きでした。このメンバーと信頼している監督と一緒にいたことは、とても心強かったですし、感謝の気持ちでいっぱいです。また、ご指導して頂いた先生方、稽古を共にして頂いた方々、本当にありがとうございました。

中堅 福岡大学 新田 葵

今大会で、2位という結果を残す事ができ、大変嬉しく思っています。先生方にご指導を受けた事を常に意識し、勝つために自分の課題を克服する事を一番に考え、日々稽古に励んできました。決して楽な組み合わせではありませんでしたが、一戦一戦自分の役割をこなし、一人が失敗しても必ず二人がフォローするというチームワークがあったからこそ勝ち進む事が出来ました。また、この結果を得る事が出来たのもいつもご指導して下さいました先生方をはじめ、様々な方々からご支援をいただいたお陰だと思っています。今後、この感謝の気持ちを忘れることなく今まで以上に精進していきたいです。

先鋒 県文化スポーツ局 スポーツ課 武藤 小夜子

準優勝という成績に一番驚いているのは、出場した選手だと思います。2勝1敗で勝ち上がることがほとんどで、決して圧倒的な強さがあったわけではありません。私自身は、自分らしい試合ができず、反省することの方が多くいます。しかし、そんな私たちが決勝まで勝ち進むことができたのは、メンバーと監督への信頼があったからだだと思います。向上心を持って稽古に取り組むことのできるこのチームは、私にとって居心地の良いものでした。国体に出場するにあたり、ご指導くださった先生方、一緒に稽古した仲間、温かいお言葉をくださったたくさんの方々、そして共に戦ったメンバーと監督に「感謝」したいと思います。

● なぎなた競技 競技得点21.0点 皇后杯8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	試合競技	2	21	武藤 小夜子 新田 葵 菅原 比呂美	県文化スポーツ局スポーツ課 福岡大学4年 福島県なぎなた連盟

● 柔道競技 競技得点25.0点 天皇杯10位 皇后杯14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		4	25	丸山 勇輝 古市 隼士 大堀 直也 室井 雄太 大和田 巧	東日大昌平高等学校3年 好間高等学校3年 田村高等学校3年 田村高等学校3年 田村高等学校3年

● 剣道競技 競技得点12.5点 天皇杯14位 皇后杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12.5	三田 大輔 原田 賢治 田崎 智春 武藤 士津夫 浦井 善一	若松商業高等学校 福島県警察 日本大学東北高等学校 福島県警察 安積高等学校

● 弓道競技 競技得点6.0点 天皇杯27位 皇后杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	近的	7	6	先崎 裕 佐藤 圭太 渡邊 英史	(株)三洋鉄工所 折笠農園 日新火災インシュアランスサービス(株)



上より:なぎなた/柔道(福島民報社)/剣道(福島民報社)/弓道(福島民友新聞社)



中島悠介選手(左)
宮野将太郎選手
(福島民友新聞社)

● 馬術競技 競技得点16.0点 天皇杯18位 皇后杯23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	馬場馬術競技	5	4	中島悠介	ヘレナ国際乗馬倶楽部
少年	自由演技馬場馬術	4	5	中島悠介	ヘレナ国際乗馬倶楽部
	馬場馬術競技	8	1	宮野将太郎	勿来工業高等学校2年
少年	自由演技馬場馬術	8	1	宮野将太郎	勿来工業高等学校2年
	スピードアンドハンディネス	6	3	杉本葵生	富里北中学校3年
	標準障害飛越	7	2	杉本葵生	富里北中学校3年

● レスリング競技 競技得点7.5点 天皇杯42位

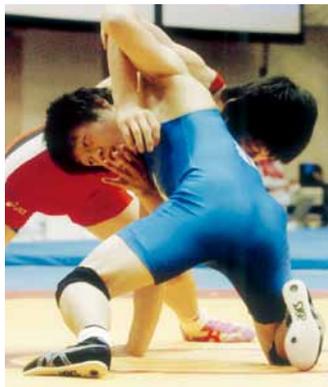
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマンスタイル74kg級	5	2.5	渡部友章	(株)クリナップ
少年男子	フリースタイル50kg級	5	2.5	湯田光	田島高等学校2年
	グレコローマンスタイル96kg級	5	2.5	猪股樹希亜	田島高等学校2年

● セーリング競技 競技得点2.0点 天皇杯26位 皇后杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	国体ウインドサーフィン級	7	2	乗富麻美	ダイキン工業(株)

● カヌー競技 競技得点12.0点 天皇杯29位 皇后杯26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スプリントカヤックシングル(500m)	3	6	宮田悠佑	鹿屋体育大学2年
少年男子	スプリントカヤックシングル(200m)	5	4	紺野勇一	安達高等学校3年
少年女子	スプリントカヤックシングル(500m)	7	2	菅野由香里	安達高等学校2年



湯田光選手
(福島民報社)



乗富麻美選手(福島民友新聞社)



宮田悠佑選手(福島民報社)

初の国民体育大会

千葉県富里市立富里北中学校 杉本 葵生

僕が乗馬を始めたのは、中学1年生の入学式の次の日からでした。

大会に出るまでの日々は地獄のようで、毎日毎日、怒られながら練習をしていました。ですから、馬に乗るのがつらく、大嫌いでした。学校から家に帰るのが嫌でした。しかし、ものすごく長い半年が過ぎ、初めて大阪の試合に出たときは、「乗馬ってこんなに楽しいんだ。」と初めて気がきました。そして2年生になってから数々の試合に出場して経験を、全日本ジュニア障害馬術大会、全日本障害馬術大会パートⅡ等、いろいろな方たちの支えもあって、いい成績を残すことができました。また翌年を目指し、冬の間も猛練習をしていました。

しかし、3月11日東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故が起きてしまい、僕の家は、発電所から20キロ圏内の場所にありました。乗馬どころではなくなってしまいました。しかし、父の乗馬仲間、乗馬関係者の方々の支援もあって、千葉に移り、学校にも通い、馬に乗れるという環境になりました。そして国体に出場することという目標ができました。そのために様々な試合にも出て、経験を積んでいきました。

国体に出るまでには、いろいろな人が支えてくれたからこそ出場できた大会なので、特に僕には、本当に特別な大会になりました。

大会初日、少年スピードアンドハンディネス競技(スピードを競います。)に出たのですが得意分野だったので、上位入賞を目指したのですが、緊張がピークに達し、ぎりぎり入賞……。次の日には少年標準障害飛越競技と、リレー競技に出ました。少年リレー競技では、パートナーの星知里さん(相馬農業高3年)と一緒にだったため、楽しく緊張もしませんでした。そして僕の最後の競技、少年標準障害飛越競技、吐き気がするくらい緊張しました。

馬に乗って本馬場に出ると緊張で頭がおかしくなりそうでした。深呼吸をして、第一障害に向かい、第二、第三と飛越し、左にUターンして第四に向かい飛びました。着地したと同時に「ポトッ」という音が聞こえ、周りにいた観客の「ああ」という声を聞いて力が抜け、すごく悲しくなりました。ジャンプオフに出れなくなったからです。その後はバーを落とさず終えました。

今回の国体では、悔しい気持ちが残りましたが、それをバネにして、来年も出場できるように、そして応援して下さいた皆様に感謝を忘れず、日々努力し、頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



(福島民友新聞社)

福島は負けない

富岡高等学校 齋藤 太一



(福島民報社)

「おいでませ山口国体」は私にとって最初で最後の国体であり、高校生として大切な仲間とともに闘う最後の全国大会でした。

私たちは、3月11日の東日本大震災に遭遇し、更には福島第一原発の事故により、お世話になっていた富岡町を離れざるを得なくなりました。全国各地からこの富岡の地に集結していた仲間たちは、それぞれの故郷に戻ることを余儀なくされ、みんなバラバラになってしまいました。最初は練習場所もなく、シャトルを打つこともまったくできませんでした。しかし顧問の大堀先生のおかげで、実業団や大学が我々を受け入れてくださり、ようやく練習することができるようになりました。いつになったらまた仲間たちと一緒に練習を再開できるかわからない中、先生の言った「大丈夫。またみんなで必ず一緒にバドミントンができる日が来る。心配するな俺に任せろ。」という言葉信じて、それぞれの活動場所で練習に全力で励みました。そして震災から約2か月後、先生の言葉どおりまた仲間たちとともに活動が再開されました。しかし当然ながら富岡町には戻ることができず、猪苗代町での活動再開となりました。初めは環境が変わり慣れるのに時間がかかると思っていたのですが、猪苗代町民の方々や、新たな寮となったあるばいんロッジの家族のみなさんがとても温かく迎えてくださり、すぐに慣れることができました。そして、その後もたくさんの人に支えられながら活動を続け、今回の山口国体を迎えました。

昨年度の国体では埼玉県(埼玉栄)に敗れ準優勝。今年のインターハイでも埼玉栄に敗れているだけに、今回はどうしても勝ちたい。またお世話になった方々へ、日本一になって恩返しをしたい。今回は私たちにとって特別な大会であり「福島は負けない」の精神で最高に気合を入れて大会に臨みました。

1回戦からすべて2-0のストレート勝ちで順調に駒を進め迎えた決勝戦、相手は予定どおり埼玉県(埼玉栄)。試合前、先生から「こんな素晴らしい舞台上で闘えるお前らは幸せだよ。思いっきりやってこい。」と言われ、仲間とともに闘う最後のコートに胸を張って立ちました。私は桃田とのペアでダブルスに臨み、ストレートで勝利することができました。続いて第1シングルの松居が頑張りましたがファイナルで敗退。勝負は第2シングルの桃田に委ねられました。1セットを先取り、2セットはリードを続けるも後半追いつかれデュース。しかし桃田が気合で攻め続け優勝を決めました。その瞬間、私は無意識のまま桃田のもとに駆け寄っていました。そこには先生も松居もいてみんなで握手をしました。満員の会場からは大きな拍手が沸き起こり、それがいつまでも鳴りやみませんでした。今までに味わったことのない経験に驚きと興奮そして感動したことを今でも鮮明に覚えています。また同時にこれまで応援し、支えてくれた人たちのことが思い浮かび、感謝の気持ちでいっぱいになりました。今、優勝という形で大会を終えることができ、お世話になった方々に少しは恩返しできたのかなとほっとしています。

私は、心も身体もバドミントンも福島で育てていただきました。私にとって福島は大切な故郷です。後輩たちには、これからも福島に誇りを持ってコートに立ってもらいたい。そして「福島は負けない」の精神を継承して行ってほしいと願っています。

関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

● バドミントン競技 競技得点24.0点 天皇杯5位 皇后杯14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		1	24	齋藤 太一 桃田 賢斗 松居 圭一郎	富岡高等学校3年 富岡高等学校2年 富岡高等学校2年

● アマチュアボクシング競技 競技得点10.5点 天皇杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ウェルター級	5	2.5	齋藤 晶	拓殖大学2年
	ミドル級	5	2.5	齋藤 健司	拓殖大学2年
少年男子	バンタム級	3	5.5	佐久間 脩太	勿来工業高等学校3年

● ボウリング競技 競技得点15.0点 天皇杯19位 皇后杯21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	個人	3	6	伊藤 丈	(株)東北装美
	2人団体	6	9	伊藤 丈 遠藤 邦男	(株)東北装美 インテリア・エンドー



桃田賢斗選手(福島民報社)



左から 桃田・松居・齋藤選手
(福島民報社)



佐久間脩太選手
(福島民報社)



左から 垣内監督・遠藤・伊藤選手
(福島民報社)



吉田真弘選手(福島民報社)



黒江雄治選手(福島民報社)

● ウェイトリフティング競技 競技得点32.0点 天皇杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	56kg級スナッチ	7	2	吉田真弘	平成国際大学3年
	56kg級C&J	6	3	吉田真弘	平成国際大学3年
少年男子	62kg級C&J	7	2	黒江雄治	福島明成高等学校
	77kg級スナッチ	5	4	石幡和也	福島工業高等学校3年
	77kg級C&J	2	7	石幡和也	福島工業高等学校3年
	94kg級スナッチ	3	6	菅野真央	川俣高等学校3年
	94kg級C&J	5	4	菅野真央	川俣高等学校3年
	105kg超級スナッチ	7	2	吉田真恭	平工業高等学校3年
	105kg超級C&J	7	2	吉田真恭	平工業高等学校3年

● バスケットボール競技 競技得点12.5点 天皇杯15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	12.5	山岸玲太	福島商業高等学校3年
				東海林健悟	福島商業高等学校3年
				ニッセンヒカリ	福島商業高等学校3年
				水野優斗	福島商業高等学校2年
				田崎凌	清陵情報高等学校3年
				中畑大樹	清陵情報高等学校3年
				八代匠	清陵情報高等学校2年
				加藤祐樹	福島工業高等学校3年
				奥井直也	福島工業高等学校3年
				白山寛貴	田村高等学校3年
				山田寛貴	田村高等学校2年
				矢沢直斗	若松商業高等学校2年

● 自転車競技 競技得点30.0点 天皇杯9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ポイントレース	2	7	窪木一茂	日本大学4年
	個人ロードレース	6	3	窪木一茂	日本大学4年
少年男子	1kmタイムトライアル	8	1	小酒大勇	平工業高等学校3年
男子	4km速度競走	8	1	金内二行	白河実業高等学校3年
	4km団体追抜競走	3	18	窪木一茂	日本大学4年
				久保田元氣	日本大学1年
				我妻優弥	日本大学1年
				緑川竣	中央大学1年



自転車競技 4km団体追抜競走(福島民報社)



集中力を高める後藤汰嘉選手(白河実業高等学校3年)



バスケットボール(福島民友新聞社)



ソフトテニス会場

第66回国民体育大会を終えて

ウエイトリフティング競技少年男子監督 福島工業高等学校 教諭 長南 国彦



少年男子監督として第66回国民体育大会に参加させていただきました。結果は、77kg級石幡和也選手（福島工業：3年）スナッチ競技5位（4点）クリーン&ジャーク競技2位（7点）、94kg級菅野真央選手（川俣高校：3年）スナッチ競技3位（6点）クリーン&ジャーク競技5位（4点）、+105kg級吉田恭平選手（平工業：3年）スナッチ競技、クリーン&ジャーク競技共に7位（2点+2点）と全員が入賞を果たすことができ、少年総合では9位（競技得点25点）になることができました。

過去を振り返ると、平成7年第50回ふくしま国体以降、なかなか結果が出ない年が数年続きました。福島国体以降も頂点強化のための合宿は年10回以上実施していたため、全国入賞レベルの選手は毎年1人は出ていましたが、チームとして考えると選手層が薄く総合での入賞は考えられない年が続きました。

そこで、協会役員、各高校顧問と競技力向上のための方策を幾度となく議論した結果、平成13年に県内高校生競技者全員で合宿を行うこととなりました。5月は新入生に徹底した技術指導、2、3年生は全国大会に向けての強化練習、7月は全国大会参加選手の意識向上、1、2年生の強化練習、1月は次年度に向けての強化練習と年3回、明確なテーマを設けて顧問全員が各高校部員に分け隔て無く指導をした結果、2年後の平成15年よりその成果が出始めました。少年男子の競技得点は、平成15年36点、16年42点、17年41点、18年20点、19年31点、20年30点、21年17点、22年8点と毎年複数の入賞者を出し、競技得点を獲得するようになりました。

このように、入部当初より関わりを持つことにより、他校生とも信頼関係ができており、選手の力を余すこと無く発揮させることができているのではないかと思います。合宿の成果は思った以上に大きく、選手達は高い目標を持ち、日々練習に励んでいるので心身ともに逞しく成長し、我々の想像以上の結果を残してくれました。

今大会を振り返ると、どの階級も接戦であり、1回でも失敗すれば順位が大きく変わる試合で、申し込んだ重量を相手を見ながら変更する駆け引きも頻繁に行われ、選手の緊張とストレスは手に取るようわかりました。このような中で選手達はよく頑張ってくれた結果を出してくれたと思います。表彰台上に上がったときの笑顔は最高の笑顔でした。特に、77kg級石幡和也はクリーン&ジャーク競技の3試技目は今まで挑戦したことのない143kg、しかも県高校新記録、成功すれば2位、失敗すれば4位という重圧の中、見事に成功させ、「これぞウエイトリフティングの醍醐味」を観客の皆さんに披露できたのは本人にとっても最高の競技会ではなかったかと思えます。

最後に、選手強化にご指導、ご協力いただきました関係各位、震災後に色々とお世話になりました皆様、競技会場で本県選手団に惜しみ無いご声援をいただいた観客の皆様様に感謝申し上げます。

『チーム福島』逆転の発想

バスケットボール競技少年男子監督 清陵情報高等学校 教諭 二文字屋 哲



本県少年男子チームが、第38回東北総体において悲願の初優勝を成し遂げ、山口国体への切符を手にすることが出来ました。東北ブロックは秋田県、宮城県、山形県など全国大会優勝回数が他のブロックに比べ群を抜いている激戦区でもあり、これまで幾度と無く東北の壁が立ち塞がり、悔しい思いをしてきました。その後、県強化委員会が『チーム福島、強い福島を作ろう』をスローガンに掲げ、地道な取り組みをしてきました。

私自身は、これまで12年間に渡り少年男子チームの活動に携わせて頂き、渡部浩一先生（県体育協会）と共に12年間活動させて頂きました。渡部先生と幾度と無く強化について議論、模索した結果、導き出されたスタンスが、『秋田県（能代工）や宮城県（仙台）の真似をしていても絶対に勝てない。笑われたっていい、馬鹿にされたっていい、福島にしか出来ないことをやろう』がスタートでした。具体的には、①選んだ選手を全て戦力として使う術を我々指導者が工夫をする。②ダメ出しではなく、プレーヤーズファーストを念頭に置き、ポジティブな思考を持たせる。この2点を心掛けチーム経営をしてきました。昨年度の第37回東北総体において少年男子チームは33年ぶりに決勝進出を果たし、なおかつ秋田県（能代工）を破っての準優勝ということが起爆剤となり、今回の結果につながったものと感じています。前年度、決勝の舞台を経験出来たことは経験値としてはやはり大きく、今回の東北総体決勝において、監督である私自身は昨年と同じように緊張はしましたが、試合の中で昨年とはまた違った対応が出来たことも事実でしたので、昨年の選手達にも感謝しております。チーム福島になるためには、我々スタッフもチームにならなければなりません。我々の役割分担として、優れた経験・実績を有している山崎高司先生（福島工業）、菊田剛史先生（福島東）がサポートに回って下さり、私に足りない部分を全て補ってくれたことが、今年のチームの強さでした。またマネージャーには遠藤心平先生（四倉）が選手達に近い立場で寄り添って下さり、そして今回の結果に大きな影響を与えたのがトレーナーである鬼澤武則先生のコンディション作りでした。

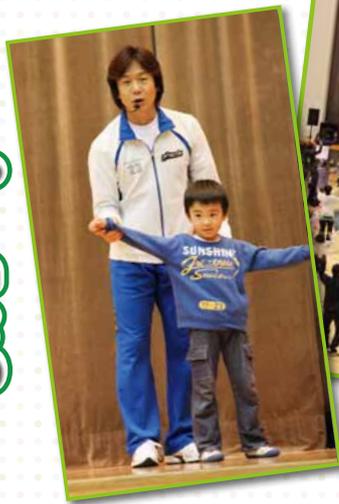
山口国体を迎え初戦、高知県と対戦し初戦の難しさから前半思い切りの良いプレーが出来ず、前半をリードされて折り返す苦戦を強いられました。後半選手達がディフェンスで相手を攻め立て、逆転勝利で準々決勝に進めました。ベスト4をかけた戦いは広島県との対戦でした。序盤から防戦一方の苦しい試合展開となり、戦況を打開すべくシステム・フォーメーションの変更を試みるも上手く機能せず、惜敗してしまい結果は第5位でありました。選手達は最善の努力を尽くしてくれましたが、監督である私が、選手達がたどり着きたかった目的地へと運び届けることが出来ず大変悔しく、申し訳なく思っております。今回の数々の経験を来年以降つなげることが出来るよう、自分自身が変化しなければならないと感じております。今がスタートラインです。再チャレンジします。選手・スタッフの皆様、県体育協会、県バスケットボール協会の皆様、本当にありがとうございました。



ひろみちお兄さんと
いっしょに楽しもう!

親子 体操教室

生涯スポーツキャンペーン2011



生涯スポーツキャンペーン「親子体操教室」は、2007年相双地区から始まり、毎年1回、県北→南会津→県中と回を重ねてきましたが、今年は11月19日（土）押切川公園体育館（喜多方市）で開催しました。講師には、毎回大人気のひろみちお兄さん（佐藤弘道氏）を今年もお迎えし、会津地方を中心に3～6歳の未就学児とその保護者、約400名の参加がありました。

子どもたちの「ひろみちお兄さん！」の元気な呼びかけで体操教室はスタート。歌や音楽に合わせてのプログラムはどれも楽しく、親子の笑顔や笑い声があふれました。

あっという間の1時間。子どもたちを持ち上げたり、支えたりするお父さんやお母さんはちょっと大変だったかもしれませんが、終了後は、みなさん笑顔で会場を後にしてくれました。

今回は、喜多方市の幼稚園・保育所の先生方やうつくしまスポーツルーターズの方々など、合わせて17名のボランティアスタッフの協力も得ることができ、運営を支えていただきました。



生涯スポーツキャンペーン2011

「うつくしまスポーツラリー2011」



「スポーツをする・みる・支える」人を応援するキャンペーン「うつくしまスポーツラリー2011」を実施しました。期間中（7月1日～10月31日）に参加したスポーツ活動・イベント等の内容を応募用紙に記入し応募してくださった方の中から、抽選で

200名に「チームふくしま」応援Tシャツを、200名に「チームふくしま」マフラータオルをプレゼントしました。

スポーツは、「する・みる・支える」などいろいろな楽しみ方があるので、今後も幅広い生涯スポーツキャンペーンを展開していきたいと考えております。



第24回全国スポーツ・レクリエーション祭
スポレク「エコとちぎ」2011
 とびっきり 栃木で いい汗 いい出会い
 平成23年11月5日(土)～8日(火)

大会報告

今年で第24回を迎えた「全国スポーツ・レクリエーション祭」が、11月5日(土)～8日(火)の4日間、栃木県で開催されました。「全国スポーツ・レクリエーション祭」は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深める生涯スポーツの一大祭典です。

今年は、「とびっきり 栃木で いい汗 いい出会い」のローガンのもと、栃木県内21の市町で、18の都道府県代表参加種目と10のフリー参加種目が行われました。

本県からは、御代田公男福島県体育協会副会長を団長とする180名の選手団(18種目)が参加し、栃木県各地の会場で全国各地から集まった選手と熱い戦いを繰り広げるとともに交流を深めました。

なお、全国スポレク祭は、今大会を最後にその幕を閉じることになりました。



都道府県代表種目名	本県参加チーム名	会場地
グラウンド・ゴルフ	キビタン	矢板市
ゲートボール	会津若松チーム・福島西会津チーム	さくら市
壮年サッカー	いわきシニアFC	宇都宮市
ソフトバレーボール	リパティ	宇都宮市
女子ソフトボール	相馬レディース	那須塩原市
ラージボール卓球	たんぼぼ	日光市
ターゲット・バードゴルフ	がくとくん	市貝町
男女混合綱引	UFO綱友会	大田原市
年齢別テニス	いわきテニス友の会	宇都宮市
年齢別ソフトテニス	しらかわST	栃木市
バウンドテニス	ふくしま須賀川チーム	真岡市
年齢別バドミントン	会津白虎隊チーム	宇都宮市
壮年ボウリング	キビタン	宇都宮市
マスターズ陸上競技	福島マスターズ	宇都宮市
インディアカ	かたかいワールドウィンズ	鹿沼市
フォークダンス	福島県支部うつくしま	小山市
エアロビック	頑張ってるよ!! 福島!!!	那須町
トランポリン	コラッセふくしま	栃木市



ふくしまスポーツフェスタ2011

兼 第31回福島県レクリエーション大会

「ふくしまスポーツフェスタ」は広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資することを目的とし、特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会と福島県が主催しています。

今年は9月10日(土)から12日(月)の3日間(一部の種目は、別期日に開催)、福島市を会場に開催されました。福島市の協力のもと、各競技団体が前日や朝早くから準備を整え、万全の体制で参加者を迎え入れました。各会場では、チーム間や地域間の交流が盛んに行われ、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができました。



- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| 【屋内活動種目】 | ・フォークダンス | ・ディスクゴルフ |
| ・ソフトバレーボール | ・武術太極拳 | ・木球 |
| ・ラージボール卓球 | ・スポーツ吹矢 | ・ベタンク |
| ・インディアカ | 【屋外活動種目】 | ・グラウンド・ゴルフ |
| ・3B体操 | ・オリエンテーリング | 【スポレク体験ひろば】 |
| ・社交ダンス | ・キャンプ | ・各種ニュースポーツ |
| ・綱引 | ・パークゴルフ | ・キンボール |
| ・日本民踊 | ・健康ウォーキング | ・マウンテンバイク |
| ・バウンドテニス | ・ハイキング | |

日本体育協会・日本オリンピック委員会 創立100周年記念事業

日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業【祝賀式典】

平成23年7月16日(土)に、日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業【祝賀式典】が行われました。本協会からは、本宿尚顧問、宗形守敏副会長ら4名が出席しました。



日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業【功労者等表彰】

祝賀式典に併せて、日本体育協会・日本オリンピック委員会創立100周年記念事業【功労者等表彰】が行われました。本協会の表彰者は以下の通りです。



◆特別功労者表彰

本宿 尚 (顧問)



◆功 労 者 表 彰

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 井戸沼俊頼 (元常務理事) | 内藤 繁元 (常務理事) |
| 岩本 忠夫 (元副会長) | 中嶋 正夫 (元常務理事) |
| 太田 豊秋 (理事) | 林 幸夫 (元理事) |
| 菅野 一治 (常務理事) | 藤田嘉平二 (元副会長) |
| 北村 孝男 (元副会長) | 武藤 敏治 (元常務理事) |
| 佐藤 昌志 (元副会長) | 宗形 守敏 (副会長) |
| 白石 豊 (常務理事) | 望木 昌彦 (元副会長) |
| 瀬戸 孝則 (元常務理事) | 吉田 修一 (元理事) |
| 橘 政弘 (理事) | 熊坂 寛 (元専務理事) ※H23/2/9逝去 |



本協会では、8月16日(火)に、本宿尚顧問の特別功労者表彰を祝い、受賞記念祝賀会を行いました。

平成23年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会 会津ブロック研修会

「スポーツと栄養について」「公認スポーツ指導者の役割について」

福島県スポーツ指導者協議会では、日本体育協会公認スポーツ指導者の義務研修会として年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、10月23日(日)に会津若松市の「会津大学」にて開催しました。

公立藤田総合病院より日本体育協会公認スポーツ栄養士の山崎有理子先生をお迎えし、スポーツ選手と栄養の関わりについて、専門的な立場から指導していただきました。

日本体育協会インフォメーションオフィサーの塩田幸男先生、中澤謙先生からは、指導者としての役割や心構えについて、ご講義いただきました。

また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供をしていただきました。

受講者は、今後の指導に生かそうと、真剣なまなざしで講義に臨んでいました。



うつくしまBande(絆)ドイツ派遣事業

期 間 平成23年8月1日(月)～8月10日(水) 8泊10日
場 所 ドイツ連邦共和国 ノルトライン・ヴェストファーレン州
 ライン・ノイス郡

派遣団員 県内総合型地域スポーツクラブ会員中学生20名
 団長1名・事務局員2名

本事業は、平成20年度まで実施された「うつくしま広域スポーツセンタードイツ研修」の受け入れ先であるドイツ連邦共和国ライン・ノイス郡のスポーツ連盟からの「東日本大震災で被災した福島県の総合型地域スポーツクラブで活動している中学生を招待し、スポーツ交流を通じて福島県の復興に向けて子供たちを元気づけたい。」という申し出を受けて実施されました。

派遣団員は、ホームステイでドイツの生活文化について体験的な学習をしながら、ホストファミリーや関係者との交流をしてきました。また、スポーツクラブの先進国であるドイツのスポーツクラブでの活動をおして研修を深め、クラブ関係者との交流もしてきました。その中で、将来のスポーツ振興を担う人材として成長していくための資質向上も図られました。



みんなで作ろう
総合型地域スポーツクラブ!

みんなで作る スポーツクラブ すいっち

『みんなで作るスポーツクラブ すいっち』は住民主導のスポーツクラブとして平成19年2月18日に設立されました。クラブの目的は、下郷町における生涯スポーツの振興を図り、以て、会員の健康増進と地域コミュニティの促進、豊かな高齢者社会の創造及び青少年の健全育成など、明るく活力に満ち溢れる地域社会の実現に貢献することです。

現在は、バドミントンやバスケットボール、フライングディスク、すいっちウォーキングなどの定期的な活動を中心に、山あそびやゴルフ大会、冬場のエアロビクスを開催しています。町の委託事業として教育長杯ソフトバレーボール大会とバドミントン大会を運営しています。町民は夏場が忙しく冬場に時間が取れるため、体力増進と交流を目的としたエアロビクスは根強い人気です。活動の中心は、大川ふるさと公園内にあるコミュニティセンター（略称コミセン）と湯野上温泉にある町民体育館です。活動は基本的に夜間（午後7時～9時）で、コミセンでは水曜日にすいっちウォーキング、金曜日にバドミントンとフライングディスク、町民体育館では火曜日と木曜日にバドミントン、水曜日と金曜日にバスケットボールを実施しています。今後は、子どもたちの経験を深める事業や若者が交流できる事業を展開する予定です。

お問い合わせ先

みんなで作るスポーツクラブ すいっち事務局
〒969-5344
福島県南会津郡下郷町大字沢田字宅地続甲 25番地
株式会社ディスクヴィレッジ内
電話FAX：0241-67-2786
（株式会社ディスクヴィレッジ内）
メール：yv4t-wtnb@asahi-net.or.jp
HP：http://switch190218.jimdo.com/



フライングディスク部会



バスケットボール部会



教育長杯バドミントン大会(町委託事業)



山あそび



エアロビクス

平成23年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 福島県商工会連合会
(有)吾妻印刷
福島県議会スポーツ振興議員連盟
福島交通(株)
(株)古瀧
関建設(株)
福島県中央商工振興協同組合
タニコー(株)
(株)山川印刷所
(株)加地和組
大塚製菓(株)郡山出張所
(株)高橋建設
寿建設(株)
北斗印刷(株)
(学)新潟総合学院FSG専門学校グループ
県高等学校体育連盟
福島銀行
(株)サンペンディング福島
齋藤整形外科医院
大宝建設(株)
入三機材(株)
菅野建設(株) | (株)クラロススポーツ
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
磐城通運(株)
(株)ファルテック福島工場
(株)モリヨシ技研
東北建設(株)
原町港湾運送(株)
(株)福島中央テレビ
(株)民報印刷
クレハ錦建設(株)
陽光社印刷(株)
江花建設(株)
福島ヤクルト販売(株)
オノヤスポーツ(株)
(株)日産サティオ福島
福島観光自動車(株)
福島トヨペット(株)
(株)プロセス印刷
むもん
(株)ヤスタ創建
(株)福南電気 | 福島県商工信用組合
キング印刷(株)
(株)東館
(株)東北装美
福島県ゴルフ連盟
(株)ひらい
福島産自動車(株)
クリナップ(株)いわき事業所
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
(株)日進堂印刷所
名木製帽店
福島ガス(株)
六陽印刷(株)
名鉄観光サービス(株)
(株)トヨタレンタリース福島
トーアエイヨー(株)
東北索道協会福島地区部会
喜多方観光バス(株)
(有)ワタナベカーペット(株)
東栄物産(株)
(株)セルラー電話サービス福島 | 福島県信用金庫協会
(株)福島民報社
福島テレビ(株)
ゼビオ(株)
(株)ウエディングエルティ
東開クレテック(株)
福島県建設業協会双葉支部
東京電力(株)福島営業所
クレハ(株)いわき事業所
堀江工業(株)
(株)松崎
(株)ダイユーエイト
(有)エンドースクリーン
スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)テレビユー福島
アルパイン(株)
竹屋旅館
医療法人グループ郡山豊形科リハビリテーション科
第一温調工業(株)
川俣貨物(株)
(株)福々と本舗 | 福島県信用保証協会
福島民友新聞社(株)
東信建設(株)
(株)環境分析研究所
(株)クレハ環境
庄司建設工業(株)
福島トヨタ自動車(株)
東北電力(株)福島支店
福浜大一建設(株)
トップツアー(株)福島支店
(株)海老名建設
(株)ヤクルト本社福島工場
(株)NIPPPOコーポレーション福島支店
(株)レオック東北
(株)福島放送
白河信用金庫
(株)ル・プロジェクト
医療法人待井循環器科内科クリニック
(株)佐藤信博建築設計事務所
セントラルウェルネスクラブ福島
医療法人佐原病院 |
|---|--|--|--|--|

個人の部(加入順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 片吉本服
荒神柳
矢野
野太山
橘森 | 平田田部
川野沼
澤藤地
田本合 | 俊政俊啓
信美智
良祀陽
豊和政
正 | 夫勝教吉
郎男徹
伸一秋
子弘典 | 下林花
六渡柴
渡富高
福深武
掘小 | 山田井戸
辺山辺
田橋本
谷藤田
松 | 好幸宣
正正洋
孝千政
秀敏一 | 宏夫明
幸仁進
司志昭
之三治
満彦 | 北朽星
鈴伊須
藤平菅
松渡櫻
山米 | 村木木藤
藤彌石
野村部
井田沢 | 孝耕光
義隆彌
五家泰
正孝和
常修 | 男作一
祐司博
衛治典
勝美朋
雄志 | 本岩国
佐滝関
酒山渡
平関永
佐尾 | 宿本井
藤田井
田辺山
根井藤
形 | 尚夫一
敬彦之
夫知勝
夫美一
史男 | 忠裕讓
勝博卓
康智祥
正幸 | 結佐長
橋福佐
星渡高
古御白
野作 | 城藤岐
士藤邊
橋川田
石崎野 | 勝昌和
寛武香
雅公洋
誠 | 夫志博
彦樹彦
里彌滿
秀男豊
一一 | 佐前岩
遠宗佐
佐白高
佐坂森
八野 | 藤田田
藤形藤
藤根野
藤本崎
木田 | 十俊
信弘一
康新満
俊卓豪 | 次長徹
均二行
樹英典
治恵紘
造一 | 斎五鈴
福西長
谷東鷲
斎安砂
高野高 | 藤嵐本
木本郷
川城森
須藤田
橋野 | 久源浩
徹清正
秀喜敦
光浩浩
(敬称略) | 男郎一
隆夫治
幸淳行
勝博子
二(敬称略) |
|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立されました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会后5年間 ●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2012年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

第3回福島県スポーツ指導者研修会

期日 平成24年1月29日(日) 会場 飯坂学習センター
 締切 平成24年1月10日(火)
 問合せ先 (財)福島県体育協会 生涯スポーツ係 024-521-7896

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- 1 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- 2 FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- 3 メールによるご相談 info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

「がんばろう!ふくしま!」を合言葉に、山口国体をはじめ、各種大会で福島県選手の活躍がみられます。

これらは、選手の力はもちろんのことですが、復興へ向けて、県民の皆様への応援が、選手を支え、追い風となったのではないかと思います。選手のコメントにはそれに対する感謝の気持ちがたくさん表れています。

私達も感謝の気持ちを大切にしながら、さらに県民の皆様が元気になっていただけるよう活動してまいります。

インフォメーション

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>
 E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

会津広域スポーツセンター (会津若松市ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0242-37-0588 FAX 0242-37-0933

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成23年4月1日午前0時より平成24年3月31日午後12時まで(申込受付は平成23年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 (団体活動を行う5名以上の方々と、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。)



加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死 (急性心不全) 脳内出血など 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



スポーツ安全協会

検索

財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館 TEL 024-526-4600 電話受付時間:午前9時~12時、午後1時~午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細な内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保))及び賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会賠償責任特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあまし」及び「重要事項説明書」を良くお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成23年4月予定)) ※予告なく変更となる場合があります。
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成23年1月作成 10-T-08374